



2026年3月期 第3四半期 決算説明会

2026年2月4日



山一電機株式会社

【1】 2025年度 第3四半期業績結果

【2】 2025年度 業績予想

【3】 配当について

本説明資料内に記載の各事業名の略称について

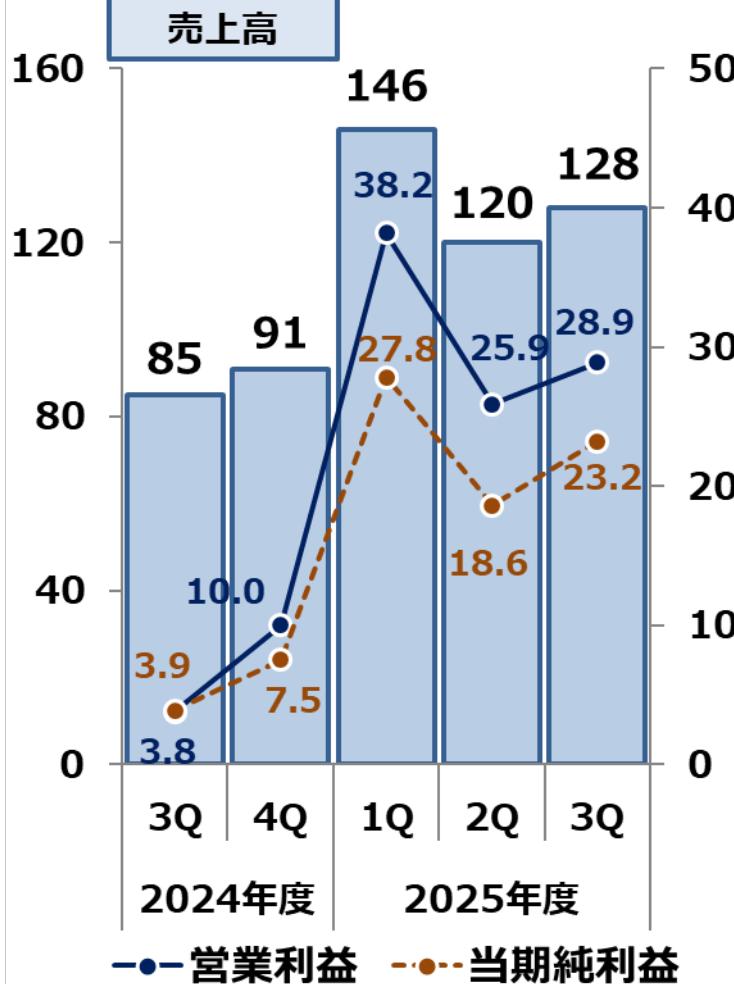
事業名	事業名略称
テストソリューション事業	TS事業
コネクタソリューション事業	CS事業
光関連事業	OPT事業

【1】 2025年度 第3四半期業績結果

3/15

◆ 業績結果

単位：億円



単位：億円	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	前年 同期比	前年同期 増減率
売上高	361	395	34	9.6%
営業利益	72.1	93.1	20.9	29.1%
経常利益	69.5	96.2	26.7	38.4%
当期純利益	44.8	69.7	24.9	55.6%
EPS (円)	221.01	378.61	157.60	-----
BPS (円)	2044.42	2393.89	349.47	-----

為替レート	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減
USD (円)	152.54	148.73	▲ 3.81
EUR (円)	164.81	171.83	7.02

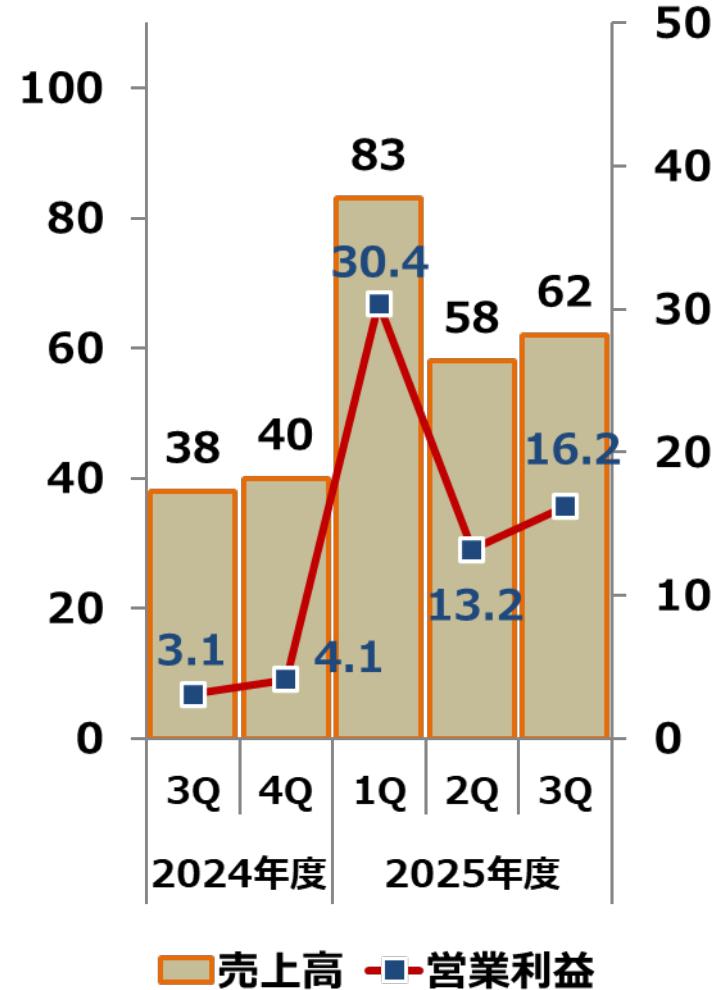
◆事業別業績結果

単位：億円		2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	前年 同期比	前年同期 増減率
TS事業	売上高	210	203	▲ 6	-3.1%
	営業利益	66.9	59.9	▲ 6.9	-10.4%
CS事業	売上高	142	180	38	27.0%
	営業利益	5.9	31.1	25.2	426.2%
OPT事業	売上高	8	11	2	32.1%
	営業利益	▲ 0.4	1.6	2.0	-----
その他	営業利益 (連結調整額)	▲ 0.2	0.3	0.6	-----
合計	売上高	361	395	34	9.6%
	営業利益	72.1	93.1	20.9	29.1%

【1】 2025年度 第3四半期業績結果

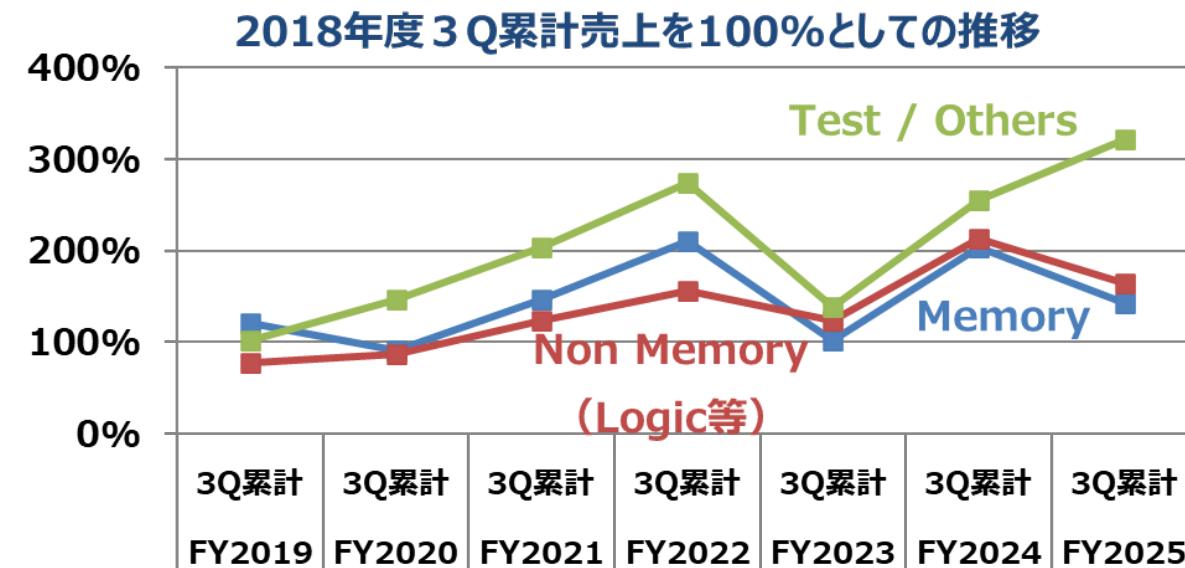
◆ TS事業 業績結果

単位：億円 TS事業



TS事業	前年同期比	前年同期増減率
	売上高	-6億円
営業利益	-6.9億円	-10.4%

- ◆ テスト用ソケット分野では、主軸のスマートフォン及びPC、自動車向け製品の販売が好調に推移しました
- ◆ バーンインソケット分野では、自動車用ロジック半導体向け製品を中心に投資先送りの影響を受け、売上及び利益に影響を受けましたが、メモリー半導体向け製品では下期に入り投資が再開され回復傾向となりました
- ◆ 事業全体では、金や銅等の原材料価格高騰に加え、前第3四半期累計期間に対し為替が円高に動いたことにより利益面に影響を受けました

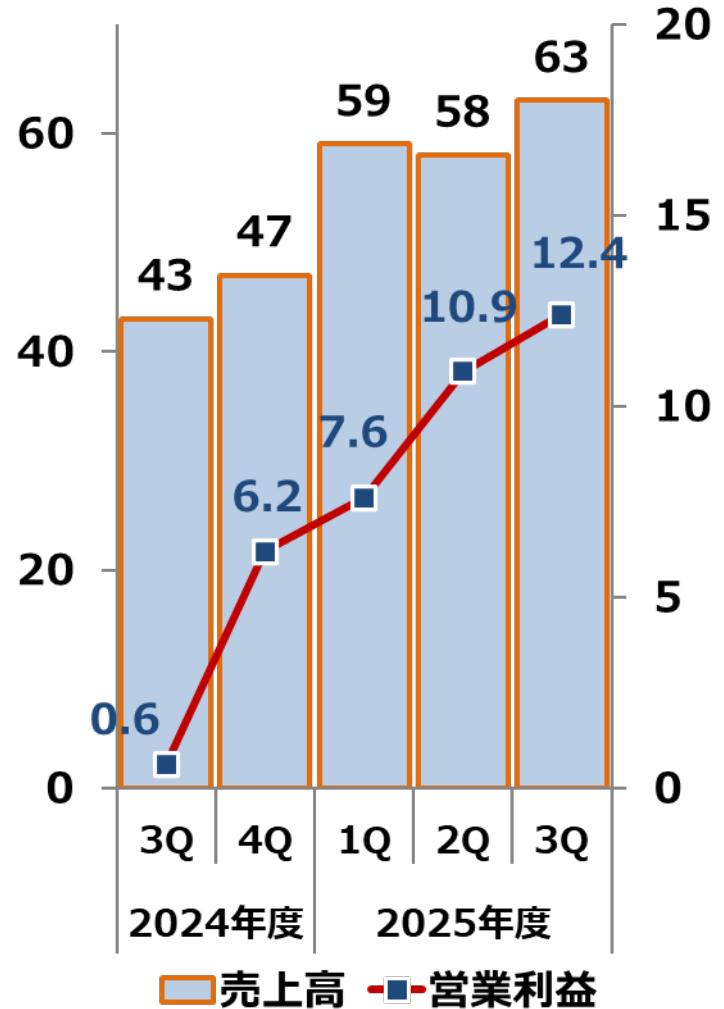


【1】 2025年度 第3四半期業績結果

◆ CS事業 業績結果

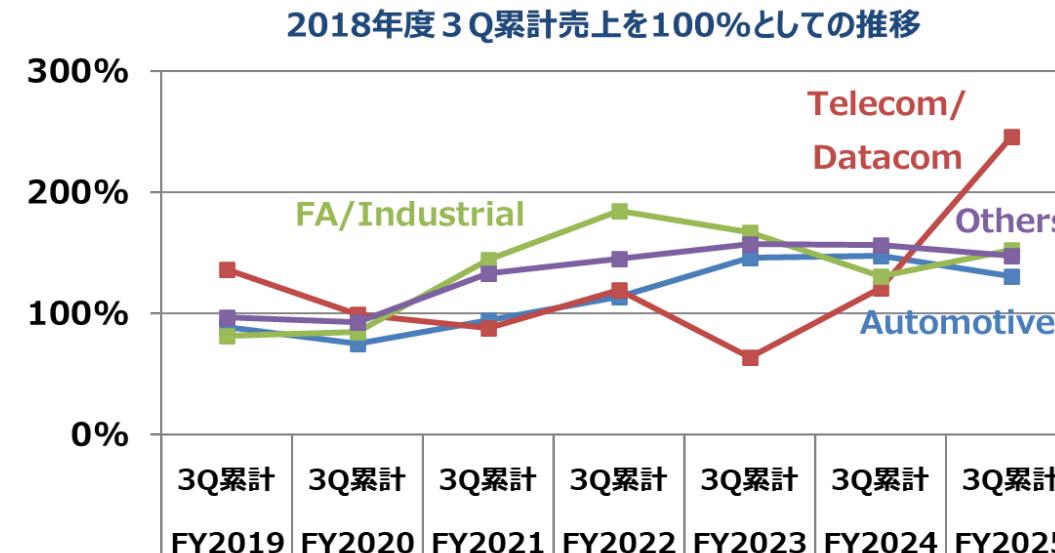
単位：億円

CS事業



CS事業	前年同期比	前年同期増減率
	売上高	38億円
営業利益	25.2億円	426.2%

- ◆ 通信機器向け製品は、基幹系通信機器向けの好調に加え、A I を含むデータセンター向けが大幅に増加したことにより好調な結果となりました
- ◆ 車載機器向け製品は世界的な需要低迷や E V 車の減速などの影響を受け低調な結果となりました
- ◆ 産業機器向け製品は主要市場である欧州顧客での在庫調整の底打ちにより回復が継続しました
- ◆ 事業全体では、金や銅等の原材料価格高騰の影響を受けましたが、第3四半期累計会計期間では売上高、営業利益共に過去最高となりました



◆ 為替影響

通貨	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減
USDレート (円)	152.54	148.73	-3.81
EURレート (円)	164.81	171.83	+7.02



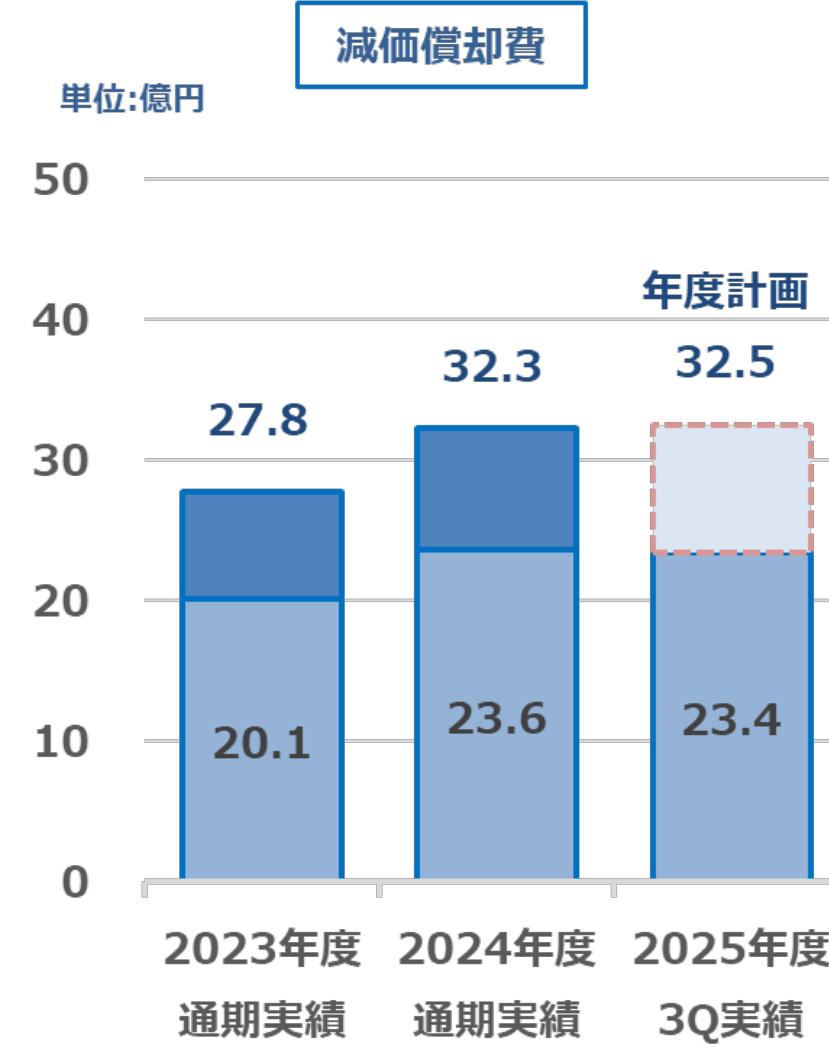
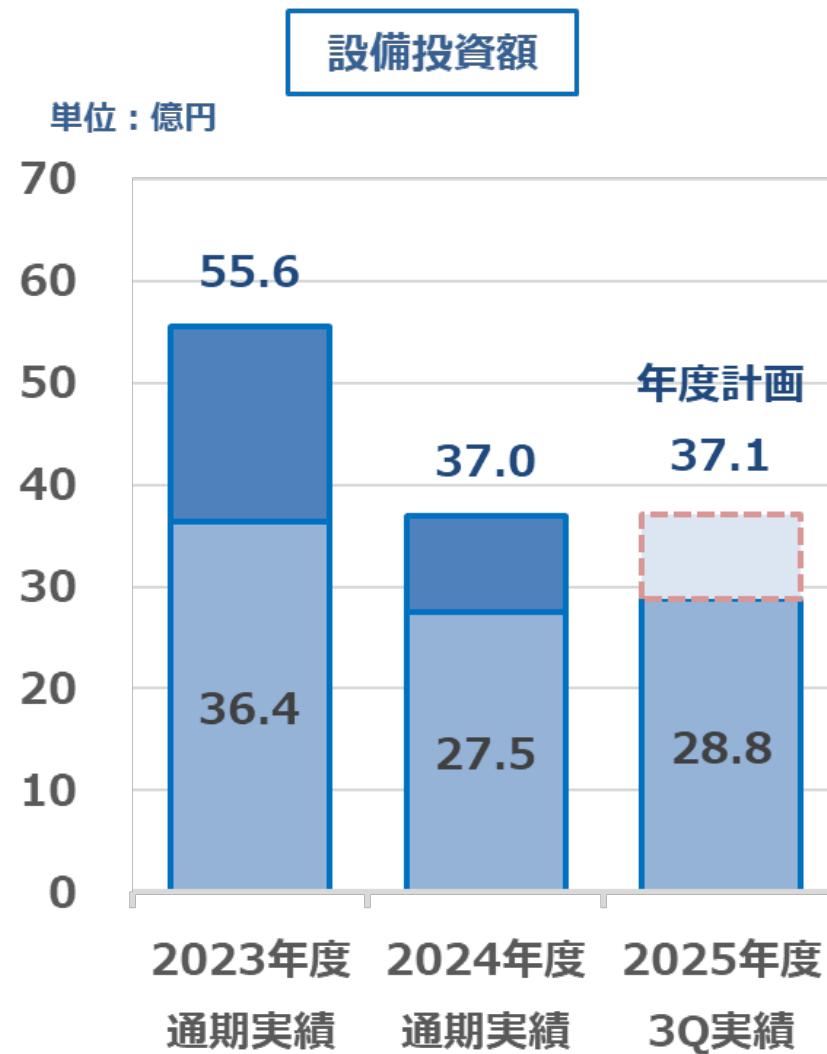
対前年同期為替影響額

売上高	-4.0億円
営業利益	-3.7億円

通期の為替感応度 (1円影響額/年間)	売上高影響額	営業利益影響額
USD	2.4億円	1.4億円
EUR	0.6億円	0.1億円

【1】2025年度 第3四半期業績結果

◆設備投資・減価償却費



◆ サステナビリティ トピックス

山一電機グループのサステナビリティ活動をまとめた「サステナビリティレポート2025」を公開しました

➤ 山一電機グループは、経営理念である「人の尊重」、「企業価値の最大化」、「企業品質の向上」、「技術立社への挑戦」および「社会的役割の達成」のもと、財務戦略と非財務戦略の統合経営を目指し、各種施策を推進しています。本レポートは、当社グループのサステナビリティに対する取り組み、目標、実績数値などを幅広いステークホルダーの皆様へ報告するものです。

➤ 公開日：2025年11月5日

➤ 主な掲載内容

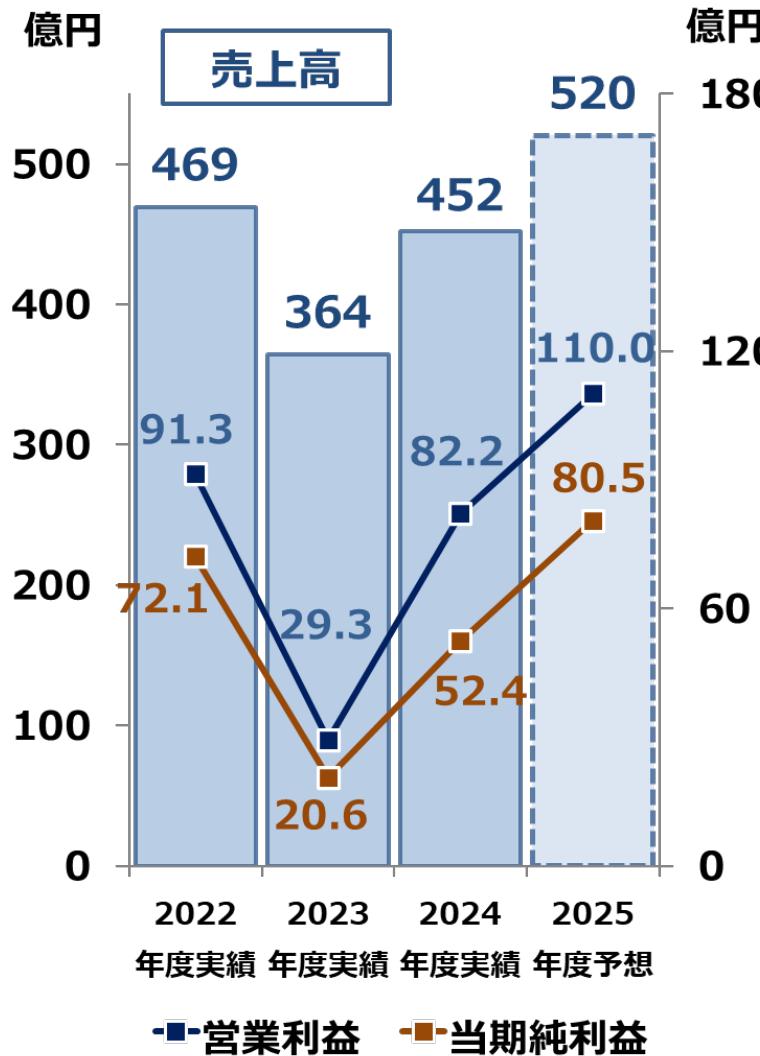
- ・ トップメッセージ
- ・ トピックス（フィリピン第3工場の太陽光発電設置開始）
- ・ サステナビリティ経営（基本方針、価値創造フレームワーク、マテリアリティとSDGs）
- ・ 国際イニシアチブへの準拠（TCFD提言に基づく情報開示）
- ・ 人財戦略の基本方針
- ・ ガバナンス

➤ 掲載URL：https://www.yamaichi.co.jp/ir/library/sustainability_report/



【2】2025年度 業績予想

◆ 連結 業績予想



【通期連結業績予想に修正があります】

2025年度の通期予想は過去最高の売上・利益となります

単位：億円	2024年度 通期実績	2025年度 通期予想			
		11月5日 公表予想	今回予想	前年 同期比	前年同期 増減率
売上高	452	477	520	67	14.8%
営業利益	82.2	93.0	110.0	27.7	33.7%
経常利益	76.8	91.0	111.5	34.6	45.0%
当期純利益	52.4	64.0	80.5	28.0	53.6%
EPS (円)	259.47	347.44	437.01	177.54	-----

2025年度 連結業績予想の前提となる為替レート

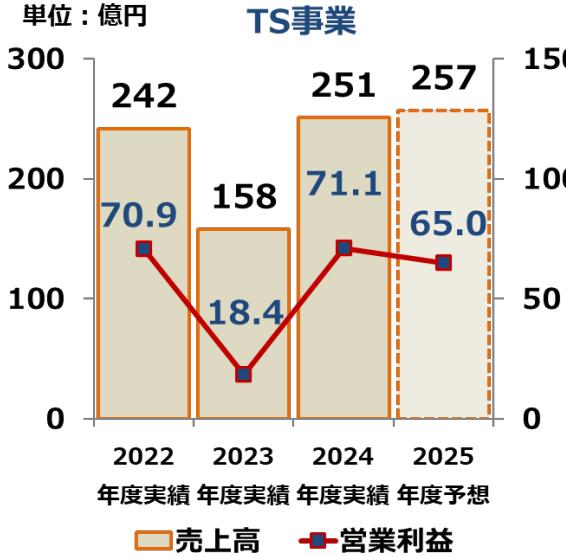
為替レート	2024年度 通期	2025年度通期	前年同期増減
USD (円)	152.56	150.00	▲ 2.56
EUR (円)	163.73	174.00	10.27

◆事業別 業績予想

単位：億円		2024年度 通期実績	2025年度 通期予想			
			11月5日 公表予想	今回予想	前年 同期比	前年同期 増減率
TS事業	売上高	251	234	257	5	2.3%
	営業利益	71.1	59.4	65.0	▲ 6.1	-8.6%
CS事業	売上高	189	228	248	58	30.9%
	営業利益	12.1	32.0	43.2	31.0	256.1%
OPT事業	売上高	12	15	15	2	21.4%
	営業利益	▲ 0.2	1.6	1.8	2.0	----
その他	営業利益 (連結調整額)	▲ 0.7	0.0	0.0	0.7	----
合計	売上高	452	477	520	67	14.8%
	営業利益	82.2	93.0	110.0	27.7	33.7%

【2】2025年度 業績予想

◆ 事業別 業績予想



TS事業：

- ◆ テスト用ソケット分野では、自動車やウェアラブル機器向けの販売に加え、スマートフォンの新モデル向け製品の出荷開始を見込んでおります
- ◆ ロジック半導体用ソケットは、全体的に投資先送りの影響がありますが、引き合いが増加しているAIサーバー向けASIC案件へ対応しております、更には、今後も市場拡大が見込まれる自動車用次世代ADAS・ADS向け製品の商談獲得に注力しております
- ◆ メモリー半導体用ソケットは、DRAM向け製品は投資再開により幅広い品種で回復が続くことを見込んでおり、NAND向け製品では次世代製品の開発投資開始に期待しております



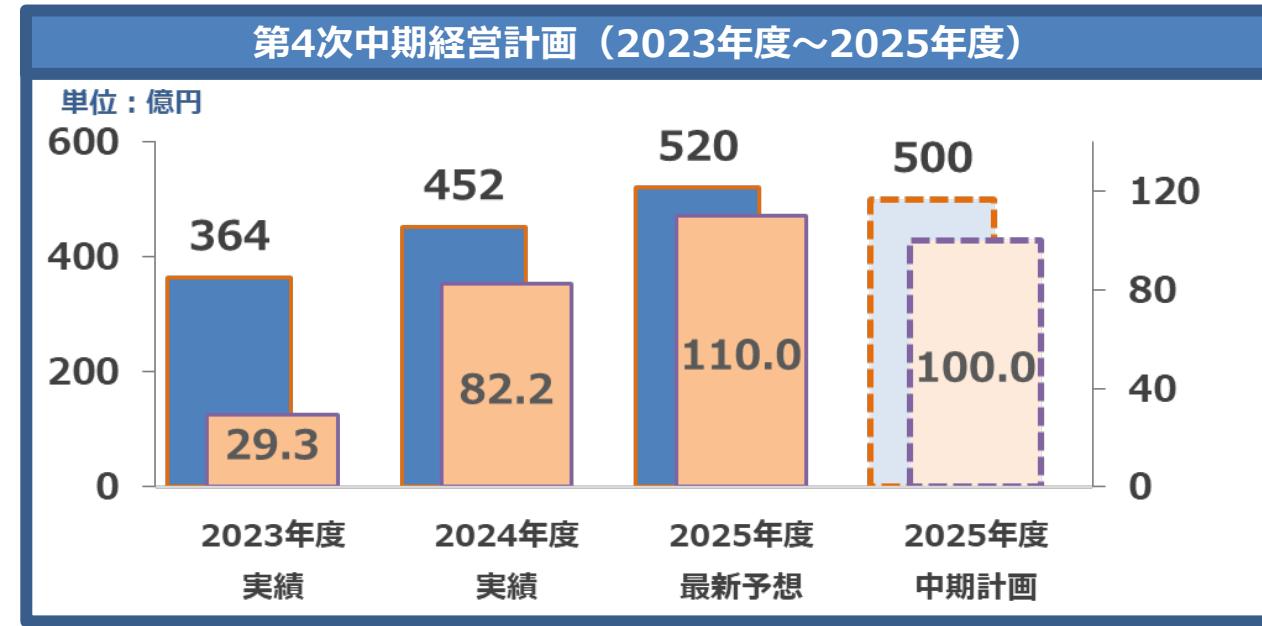
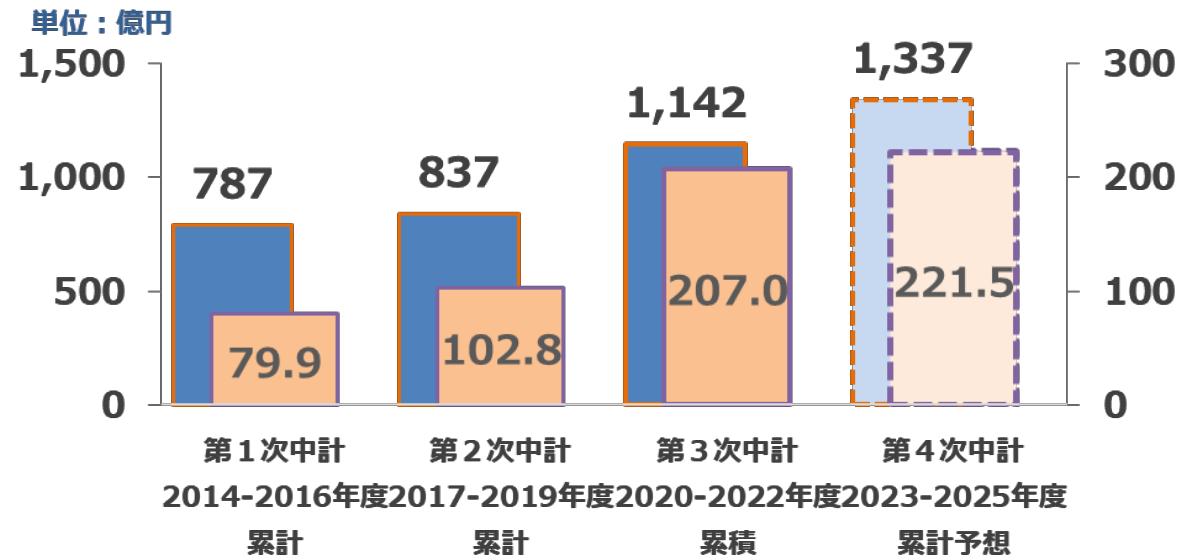
CS事業：

- ◆ 通信機器向け製品は、AIを含むデータセンターへの投資が本格化していることから、総じて高い需要を見込んでいることに加え、積極的な品種拡大を進めてまいります
- ◆ 産業機器向け製品は、主要市場である欧州顧客での在庫調整の底打ちにより、I/Oコネクタの需要拡大を見込んでいることに加え、半導体関連装置向け製品にても拡大を見込んでおります
- ◆ 車載機器向け製品は、世界的な需要低迷やEV車の減速による生産台数への影響が続いておりましたが、今後は緩やかな回復を見込んでおります

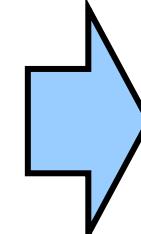
【2】2025年度 業績予想

◆中期経営計画の進捗

2026年3月期連結業績予想の修正にて、最終年度目標の売上高500億円、営業利益100億円を達成する見込みとなりました。



	第4次中期経営計画目標値
連結売上高	1,390億円
連結営業利益	250億円
設備投資	140億円



	2023年度実績	2024年度実績	2025年度最新予想	第4次中計累計予想	達成率予想
連結売上高	364億円	452億円	520億円	1,337億円	96.2%
連結営業利益	29.3億円	82.2億円	110.0億円	221.5億円	88.6%
設備投資	55.6億円	37.0億円	37.1億円	129.8億円	92.7%

【3】配当について

◆期末配当について

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の維持と適正な利益還元を行うとともに、財務体質と経営基盤の強化を図ることを利益配分の基本方針としております。また、当社グループは、先の中期経営計画で配当性向30%を目指すことを公表し、2018年度より継続して30%を維持しております。

期末配当予想につきましては、2026年3月期連結業績予想の修正に伴い、期末配当の修正を行いました。ただし、2026年3月期の期末配当につきましては、2026年6月に開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

(ご参考) 年間配当の内訳

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年11月5日公表)		70円	105円
今回修正予想		97円	132円
当期実績	35円		
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	35円	54円	89円

ご清聴ありがとうございました

(期末決算発表日 2026年5月13日（水）15：30予定)

※注意事項

本資料は、2026年2月4日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更する場合があります。

問合せ先：経営管理部広報課 古畠 利之

TEL：03-3734-7661 FAX: 03-3734-0120

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: furuhata@yamaichi.co.jp